

目次

1. 寄稿 「環境的に持続可能な交通を目指して」(第3回)
「環境的に持続可能な交通を目指して」
【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 大野 栄嗣】
2. 寄稿 「地方から全国に向けた情報発信！」(第3回)
「つくばエクスプレス開業に伴う総合的な公共交通機関の利用促進を目指して」
【流山市都市計画部都市計画課交通計画推進室長 柳沢 正広】
3. ニュース/トピック
2005年度の温室効果ガス排出量の速報値を公表【環境省】
2006年度グッドデザイン賞ベスト15に富山ライトレール・富山港線を選出【財団法人日本産業デザイン振興会】
第5回「日本鉄道賞」、富山ライトレール(株)に決定【国土交通省】
手ぶら移動システムによる公共交通機関利用促進事業の推薦を決定【公共交通利用推進等マネジメント協議会】
札幌都心部でタクシー客待ち環境改善社会実験を実施【札幌市】
堺市の東西鉄軌道事業の企画提案募集に提案29件【堺市】
エコドライブや、高速道路の利用促進のためエコロード・キャンペーンを実施【国土交通省】
4. イベント情報
交通まちづくりフォーラム KOBE・2006
フォーラム「公共交通の運賃の受渡し方法はどう変えるべきか？」
地球と交通を考えるセミナー とよたシティエコピクニック大会
第3回全国鉄道まちづくり会議 加西市大会
交通エコロジー教室事業「金沢バス利用の達人養成塾」
鉄ちゃん王国とやま LRT フォーラム
交通エコロジー教室事業「金大100円バス & 公共交通利用促進セミナー」
5. その他
記事募集中！

-
1. 寄稿 「環境的に持続可能な交通を目指して」(第3回)

「環境的に持続可能な交通を目指して」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 大野 栄嗣】

(社団法人日本自動車工業会拡大地球環境部会副部長)

増加が著しいと言われた日本の運輸部門のCO₂排出量も、2002年度以降やっと減少基調に転じました。京都議定書目標達成計画の見込みである「2010年度年間2億5千万トン」まで、あと1200万トンに迫り、目標達成も射程圏内に入っていて、決してできない数字ではありません。ただし、例え目標達成できたとしても、それで終わりではありません。今後も引き続き、CO₂削減努力を持続して行かなければなりません。自動車業界では、その意気込みで燃費向上に取り組んでいます。乗用車の平均燃費は、既に15.5km/lと、2010年燃費基準相当(15.1km/l)を上回り、政府においてはポスト2010年燃費基準の検討も進んでいます。自動車の燃費向上によるCO₂削減目標である年間2100万トンは、期待通り2010年には達成できるでしょう。しかし、この数字は運輸部門全体のCO₂削減見込みの半分以下であります。運輸部門のCO₂削減には、自動車単体の対策だけでなく、交通対策を含めた総合的な対策が必須です。例えば、自動車工業会の試算によると、2002年に首都高速道路王子線が開通した事で、CO₂が年間2万~3万トン削減されました。信号機の制御や公共交通機関の利用促進など、交通対策の手段は色々あります。そこで重要なのは、個々の交通対策を別々に独立に実施するのではなく、総合的な戦略に基づいて都市ごとに行う事です。それが対策の効果・効率を上げる点で極めて重要と思われる。ここに、EST(Environmentally Sustainable Transport)の大きな意義があります。ESTが、短期的対策としてだけでなく、中長期的視点でますます促進される事を切に期待します。

2. 寄稿 「地方から全国に向けた情報発信！」(第3回)

「つくばエクスプレス開業に伴う総合的な公共交通機関の利用促進を目指して」

【流山市都市計画部都市計画課交通計画推進室長 柳沢 正広】

平成10年から柏市・流山市では、6地区面積約1,081ヘクタールに及ぶ土地区画整理事業が進められており、平成17年8月には、秋葉原とつくばを最速45分で結ぶ、つくばエクスプレスが開業しました。

沿線では「環境・健康・創造・交流の街をつくる」をコンセプトとしてまちづくりが進められており、自家用車利用から公共交通機関等への利用転換や、自転車を促進し環境負担の転換を図るため、つくばエクスプレス沿線地区を重点地区として、柏市・流山市において共同で環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業に取り組んでいます。

モデル事業では平成17年度から19年度までの3年間で、初年度においては、つくばエクスプレス開業に合わせた鉄道利用者の増進を目的に、路線バス網の新設・再編、コミュニティバス導入の実施や自転車駐輪場、駅前広場の整備、PTPSの導入を実施しました。

2年目となる今年はバス利用促進のための見直し、バス定時性の確保のためのボトルネック交差点等を含む交通体系の調査や、コミュニティバスの路線追加、また自転車走行に

配慮した道路の整備などを進めています。

また、柏市では国土交通省から CNG 普及及び促進モデル地域の指定を受けており、低公害車促進補助制度の導入を行い、CNG 車の普及促進を行っています。

流山市では EST モデル事業支援を受け、自動車事故対策費補助によるコミュニティバス「流山ぐりんバス」を平成 17 年度に 3 路線、平成 18 年度にも 1 路線の導入を行い、今後利用促進を図っていきます。

路線バス、コミュニティバスなどについては定時性確保やダイヤの増便等、利用者から利便性の向上が求められています。

また、つくばエクスプレス駅周辺には新たな商業施設の建設が進み、自動車交通の増加やバス交通に対する影響も懸念されます。

このようなことから、EST モデル事業の効果検証と合わせ、新たな公共交通利用促進策について検討し、環境にやさしいまちづくりを進めています。

3. ニュース/トピック

2005 年度の温室効果ガス排出量の速報値を公表【環境省】

2005 年度の温室効果ガスの総排出量(速報値)は 13 億 6,400 万トンで、京都議定書の規定による基準年(原則 1990 年)の総排出量を 8.1%上回っています。前年度の総排出量と比べると 0.6%増加しています。これは、エネルギー起源 CO₂ の排出量について、運輸部門が減少した一方で、家庭部門、業務その他部門が大きく伸びたためです。2005 年度のエネルギー起源 CO₂ の運輸部門での排出量は 257 百万 t-CO₂ であり、基準年を 18.1%上回っています。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7603>

2006 年度グッドデザイン賞ベスト 15 に富山ライトレール・富山港線を選出【財団法人日本産業デザイン振興会】

財団法人日本産業デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞の 2006 年度グッドデザイン賞ベスト 15 に富山ライトレール・富山港線が選出され、富山市、富山ライトレール株式会社、株式会社 G K 設計が受賞することになりました。

<http://www.g-mark.org/library/2006/award-best15.html>

<http://www7.city.toyama.toyama.jp/pr/report/200610/01.html>

第 5 回「日本鉄道賞」、富山ライトレール(株)に決定【国土交通省】

鉄道の発達に貢献した鉄道事業者や団体を表彰する「日本鉄道賞」に富山ライトレール(株)が選ばれました。今後の地方都市圏における LRT 整備のあり方の代表事例となりうる取り組みとして評価されました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/08/081003_.html

手ぶら移動システムによる公共交通機関利用促進事業の推薦を決定【公共交通利用推進等マネジメント協議会】

公共交通利用推進等マネジメント協議会は、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が9月より募集を行っている平成18年度民生部門等地球温暖化対策実証モデル評価事業二次募集の応募案件を審査し、「中枢臨空都市圏における手ぶら移動システムによる公共交通機関利用促進事業(FS事業)」を推薦することと決定しました。

<http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/01/011016.html>

札幌都心部でタクシー客待ち環境改善社会実験を実施【札幌市】

札幌市は10月12日から10月25日までの14日間、大通地区においてタクシーの客待ち環境を改善する社会実験を実施します。都心周辺部にタクシープール(待機場所)を設置することで、都心部のタクシー乗り場に待機する台数を管理し、交通の円滑化やアイドリソングストップによる環境改善の効果及び実施に向けての課題を検証するものです。

<http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/toshin/taxi.html>

堺市の東西鉄軌道事業の企画提案募集に提案29件【堺市】

LRTによる東西鉄軌道事業に取り組んでいる堺市は、早期開業区間(堺駅～堺東駅)の平成19年度の事業着手に向け企画提案を募集しました。その結果、経営提案1件と技術提案28件が寄せられました。(10月18日付堺市報道提供資料より)

http://www.city.sakai.osaka.jp/city/info/_koho/oct18.html

エコドライブや、高速道路の利用促進のためエコロード・キャンペーンを実施【国土交通省】

国土交通省や高速道路会社で構成されるエコロード・キャンペーン実行委員会は、京都市議定書の目標達成のため、エコドライブや高速道路の利用促進など国民と連携した取り組みを行い、自動車交通によるCO2排出を削減するエコロード・キャンペーンを実施します。期間は2006年10月24日から2008年3月(予定)まで。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/06/061023_2.html

4. イベント情報

交通まちづくりフォーラム KOBE・2006

日時: 第1回 10月28日、第2回 12月2日、第3回 2007年1月27日

場所: 兵庫県民会館

実施主体: 環境省近畿地方環境事務所、神戸市EST推進協議会

概要: 地元商業者・市民・行政など多様な関係者が「歩いてかっこいい神戸の都心を語りあう」ワークショップ

詳細:神戸市役所 記者提供資料(10月17日)

<http://kouhou.city.kobe.jp/information/saisin.html>

フォーラム「公共交通の運賃の受渡し方法はどう変えるべきか？」

日時:2006年11月1日 13:30~17:00

場所:川崎商工会議所

主催:全国・路面電車ネットワーク、人と環境にやさしい交通をめざす協議会、
NPO 法人 / エコエネルギーによる地域交通システム推進協会

概要:信用乗車方式を社会的に成立させるための、制度的、法的、システム技術的な
条件を探り、その導入のための実践的、政策的な方策を求めるもの。

<http://www.areev.org/06-sept/forum-unchin-ukewatashi.htm>

地球と交通を考えるセミナー とよたシティエコピクニック大会

日時:2006年11月4日

場所:豊田市

主催:愛知県地球温暖化防止活動推進センター、環境省中部地方環境事務所

概要:環境と健康を考えて、自家用車を置いてまちを歩くイベント

第3回全国鉄道まちづくり会議 加西市大会

日時:2006年11月4日

場所:加西市健康福祉会館

主催:鉄道まちづくり会議、加西市、北条鉄道再生支援協議会

http://homepage3.nifty.com/sustran-japan/datafile/_kasai_annai_program.doc

交通エコロジー教室事業「金沢バス利用の達人養成塾」

日時:2006年11月23日(祝)13時30分~

場所:金沢駅東もてなしドーム地下広場

主催:北陸信越運輸局、共催:金沢市、後援:北陸鉄道(株)、西日本 JR バス(株)

概要:公共交通の利用という環境にやさしい行動への変化を促すためのバスに関する地
域情報の提供を行います。

鉄ちゃん王国とやま LRT フォーラム

日時:2006年11月25日~26日

場所:富山市(111 インテックビル3F スカイホール他)

主催:北日本新聞社、未来観光戦略会議

<http://www.portram.net/event/20061125LRT.php>

交通エコロジー教室事業「金大 100 円バス & 公共交通利用促進セミナー」

日時:2006 年 11 月 27 日(月)16 時 30 分～

場所:金沢大学角間キャンパス自然科学系図書館大会議室

主催:北陸信越運輸局、共催:金沢市、後援:金沢大学、北陸鉄道(株)

概要:「金沢バstriガー方式」の適用第 1 号となる「金大 100 円バス」の実証実験が平成 18 年 4 月より実施されています。この施策の効果を高めるため、金沢大学の学生を対象に、環境面での優位性の視点から公共交通を利用する習慣とマイカー利用を抑制する意識の醸成を図ります。

5. その他

記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

E-mail: × × × × (担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail: × × × ×

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/> (配信申込、バックナンバー閲覧はこちら)